

全国高校生建築設計競技 優秀作品展 2009

報告書

全国高校生建築設計競技 優秀作品展 2009



日時：2009年7月29日(水)～8月1日(土) 9:30～21:00

会場：With You さいたま

～埼玉県男女協同参画推進センター～ (ホテル プリランテ武蔵野3F)
埼玉県さいたま市中央区新都心2-2
TEL: 048-601-3111



(入場無料)

主催：東日本建築教育研究会
共催：愛知産業大学造形学部建築学科
九州産業大学工学部建築学科
工学院大学建築系学科
中央工学校・中央工学校OSAKA
道都大学美術学部建築学科
東洋大学工学部建築学科
長崎総合科学大学工学部建築学科
日本工業大学工学部建築学科

後援：社・全国工業高等学校長協会
社・日本建築家協会関東甲信越支部
財・建設業振興基金
株・日刊建設通信新聞社北関東支局
社・日本建築学会関東支部
社・日本建築学会関東支部埼玉所

問い合わせ先
東日本建築教育研究会 製図分科会主査 小島 聡
千葉県立東総工業高等学校 建築科
TEL: 0479-62-2522

東日本建築教育研究会 製図分科会

全国高校生建築設計競技優秀作品展2009

来場者アンケート集計結果

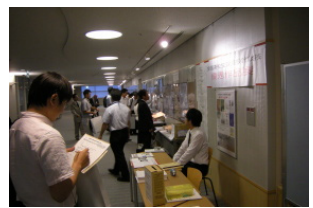
会場: With You さいたま
 期間: 2009年7月29日～8月1日

回答数	総数	7月29日(水)	7月30日(木)	7月31日(金)	8月1日(土)				
	85	11	44	22	8				
問1 性別	男 69	女 16							
問2 年齢	10-19歳 17	20-29歳 7	30-39歳 16	40-49歳 21	50-59歳 16	60歳以上 5			
問3 職業	小学生 0 大学生 4 社会人 8	中学生 0 (建築系) 4 (建築関係) 8	高校生 0 デザイン系 0 設備関係 0	(普通科) 0 その他) 0 デザイン関係 1	工業科 13 教員 39	商業科 0 その他) 16	農業科 0	その他) 0	
問4 この作品展をどこで知りましたか?	事前にチラシ等で知った		9	通りすがりに立ち寄った		7			
	出展者および関連団体からの紹介		43	学校からの紹介		17			
	その他		9						
問5 本日出展の各設計競技について、以前から知っていましたか?	半数以上知っていた		37	あまり知らなかった		15	知らなかった	23	
問6 本日の作品展の内容はいかがでしたか?	非常に良かった		38	良かった	47	あまり良くなかつ	0	悪かった	0

- ・用紙にこだわりがあり良かった。ケント紙、ワトソン紙などデザインにあった用紙の選定が行われていた。(20-29教員)
- ・作品の技術がよい。(40-49教員)
- ・良い作品を見る価値を知れた。(10-19工高生)
- ・立体模型も置くこと、作品と受賞者のレイアウト(説明不足)に課題を感じました。(その他)
- ・自由な発想が初々しいと思います。(40-49デザイン関係)
- ・今後の指導の参考とする上で実物を見ることは大切である。(50-59教員)
- ・オリジナルだから
- ・個性あふれる作品が並んでいた。(30-39教員)
- ・各校のテーマがわかり高校毎の作風を理解できました。(40-49教員)
- ・優秀な作品が沢山あって自分の勉強になった。(10-19工高生)
- ・良い作品がたくさんあって勉強になったし、楽しかった。(10-19工高生)
- ・遠くの作品が見ることができて良かったです。(10-19工高生)
- ・数多くの作品を比較しながら見学でき良いと思います。(30-39教員)
- ・高校生でのほとんどのコンペの優秀作品を一度に見ることは素晴らしいと思う。(10-19高校生)
- ・色々なコンペのもと、色々な考え方があって楽しかった。(10-19高校生)
- ・今年の軽井沢研修会ではお世話になりました。今回の作品展はとてもおもしろく勉強になりました。ありがとうございました。(10-19高校生)
- ・高校生のレベルの高さを認識できた。(60-69建築関係)
- ・個別の展示では表面化されないが、優秀者(技、指導者)の共通性が目に付いた(50-59教員)
- ・高校生の生き生きとした図面を見られて感動しました。(20-29大学生・建築)

問7 印象に残った作品がありましたら教えてください。

- ・長崎科学大学のテーマ(60-建築関係)
- ・軽井沢コンペ「想いを重ねる家」-感激です!(50-59教員)
- ・「仲よし5家族から地域に広がる縁側のある町並み」-楽しい、すばらしい(50-59教員)
- ・どの作品も素晴らしい。先生方の指導のたまものであろう。(40-49大学教員)
- ・高校生としては、表現は大人びているものが多い。しかし、本当に高校生らしいと言える作品は少ない(40-49教員)
- ・甲府工業高
- ・愛知産業大 全国高校生アイデアコンテスト
- ・それぞれの校風が作品に出ていてどれも素晴らしい。(40-49教員)
- ・いっぱいありました(10-19工高生)
- ・九州産業大学(10-19工高生)



感想・ご意見があれば、ご自由にご記入ください。

- ・どの作品も表現力の素晴らしさに感銘を受けた。(10-19工高生)
- ・とても興味を引かれる物ばかりでとても良かったです。(10-19工高生)
- ・各大学等の協力を得て、作品を集めるという作業ご苦労さまでした。とてもよい作品展だと思いました。(40-50教員)
- ・最近の高校生にプレゼンのテクニックを希望だが！あまり愛着を感じられなかったのが残念です。(60-建築関係)
- ・よく考えられている。粘り強い力(指導)が必要だと作品を拝見して理解しました。(30-39教員)
- ・模型・考え方・レイアウトが参考になった。(50-59教員)
- ・これからの設計の参考にさせていただきます。(10-19工高生)
- ・多くの作品が展示されていたので、過去の優良作品も見られたので良い経験となった。以後もこのような機会を催して頂けるとまた見に来たいです。もう少しフレットの種類がありますと、また良かったと思います。(10-19工高生)
- ・これからも頑張ってください。(40-49デザイン関係)
- ・生徒が持っている感性やアイデアを形にするところまで持って行くご指導が素晴らしい。
「指導の参考に…」などと考えながら来たのですが、図面の中に沢山の想いやちょっとした素敵な空間が沢山あり、何よりもその建築の向こう側にいる人々への暖かい視点が風土に対する愛情が感じられて、改めて「建築っていいな…」という気持ちを久々に持ちました。佐野君と水村君にこのまま成長して行ってほしいです。(50-59教員)
- ・高校生らしさ？という問いは難しいが、何かそれらしいものが見られると期待していたが…(40-49大学教員)
- ・出展している高校は、どのコンペでもだいたい同じ学校に偏っている。これは熱意のある一部の先生方の努力によってなされていることが理解できる。しかし、そのことが同じ表現、プレゼンへとつながっていることは否めない。このことは本当の高校生らしさとは？という問いへと結びつく。一部の学校の一部の先生方の努力で支えられていることは否定できないが、これをもう一歩先へ進めるために建築界全体で考える必要があるのではないかと思う。(40-49大学教員)
- ・がんばってください。大阪もがんばる。(60-69教員)
- ・次回も開催お願いします。(50-59教員)
- ・今後も続けてほしい。(40-49教員)
- ・私たちが出した作品もあったので、楽しく見る事ができた。(10-19工高生)
- ・このような機会がたくさん作品を見られてとても良かったです。(10-19工高生)
- ・もう少し多くの作品が見たかった。上位入賞以外の作品がもう少しあると、コンペの評価基準がわかりやすいと思います。(10-19工高生)
- ・このような場に出展でき嬉しく思います。先生方大変お疲れ様です。(30-39教員)
- ・全国のコンペ作品が生で見学できるのは大変良い機会でした。生徒にも良い刺激を与えることができ、今後一緒に楽しんでコンペ作品に取り組みればと考えています。(30-39教員)
- ・埼玉県内の高校生のコンペも考えてほしい。(60-69建築関係)
- ・建築を学ぶ「高校生対象のコンペの実体を知る良い機会でした。何らかの形で継続した展示会を期待します。コンペ作品制作に取り組む姿勢の底辺拡大は大変でしょうが頑張ってください。(50-59教員)
- ・実際に入賞作品を見るチャンスはなかなかないため、本日は大変勉強になりました。生徒のタッチや着色のしかたなど表現方法が多様で、作品に取り組む姿勢が見て取れました。是非、高校生にもたくさん見ていただいて自分の作品へ生かしてもらいたいと強く思います。(20-29教員)
- ・各大学のコンペを一度に見ることが出来るのは、各高校の色を見ることができて良いと思います。ぜひ大々的に行ってほしいと思います。高校生のフレッシュな姿勢はさすがしく原点を思い出しました。(20-29大学生・建築)



全国高校生建築設計競技優秀作品展2009

印象に残った作品

競技会名称	第7回愛知産業大学 建築コンペティション	
テーマ	「縁側」という空間	
主催者	愛知産業大学 造形学部 建築学科	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
最優秀賞	水村裕太 / 埼玉県立熊谷工業高校(建築科) / 2年 仲よし5家族から地域に広がる縁側のある町並み	
優秀賞	橋本亜弥 / 滋賀県立安曇川高校(総合学科建築デザイン系列) / 3年 縁側に吹く9つの風	
	佐伯和真・村瀬巧 / 京都市立伏見工業高校(産業デザイン科) / 3年 KYOTO NOUVEAU - 京都の内と外をばかす縁側空間の提案 -	

11

5

競技会名称	第16回九州産業大学建築設計競技	
テーマ	構造をデザインする	
主催者	九州産業大学	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
一等	柴尾大輔 / 大分県立日田林工高校(建築科) / 3年 自然界から学ぶ構造デザイン ~現代科学との融合で何が生まれるか~	

5

競技会名称	第1回高校生の建築フレッシュ・アイデア・コンペ	
テーマ	家族の空間・自分の空間	
主催者	工学院大学 工学部 建築系学科	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
絵の部門		
最優秀賞	豊島浩太郎 / 国立豊田工業高等専門学校 / 3年 GRRN LIFE 自然とシンクロする家	
優秀賞	関口宏海 / 山梨県立甲府高校(建築科) / 3年 One room my booth	
	堀江優 / 東京都立工芸高校 / 3年 開放的な家 ~部屋にも人にも地域にも~	
文の部門		
優秀賞	宮崎梓 / 山梨県立甲府工業高校 / 1年 Cookinng My Life ~私の空間・家族の空間~	
審査員特別賞	佐藤芽衣 / 市立横浜国際女学院翠陵高校 / 3年 私が理想とする住まい	
	廣瀬将泉 / 山梨県立甲府工業高校 / 2年 私の空間 + 家族の空間	

競技会名称	第3回 建築系高校生対象コンペティション	
テーマ	工芸作家の軽井沢Life	
主催者	中央工学校・中央工学校OSAKA	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
最優秀賞	佐野智哉 / 静岡県立科学技術高校(建築デザイン科) / 2年 思いを重ねる家	6
優秀賞	遠藤理恵 / 滋賀県立安曇川高校(総合学科建築デザイン系列) / 2年 月の光と軽井沢のキャンドル ~電気をすてたキャンドル工芸作家の住まい~	1
	今井直和 / 中央工学校高等課程(建築技能情報科) / 2年 落葉松工房2009 ~誰もが工芸を楽しめる家~	
佳作	古浦昭保 / 埼玉県立熊谷工業高校(建築科) / 2年 雑木林にとけこむ軽井沢ライフ	1
	松澤志門 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 1年 藍 ~あい染めの家~	
	松原稜太 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 2年 Light of the bomboo	2
	海野洸太 / 静岡県立科学技術高校(建築デザイン科) / 1年 登り窯を囲む家	
	望月貴仁 / 静岡県立科学技術高校(建築デザイン科) / 2年 和み庵 あかり路	
	阿師村珠実 / 三重県立四日市工業高校(建築科) / 2年 風がうまれる家	
	宮下卓也 / 三重県立四日市工業高校(建築科) / 2年 突の家	
	梅原敏弘 / 大分県立日田林工高校(建築科) / 1年 Patina Style	
	深田有希也 / 大分県立日田林工高校(建築科) / 1年 Slow Life	
	小野陽平 / 大分県立日田林工高校(建築科) / 1年 奏でる 作る バイオリン	

競技会名称	第5回道都大学美術学部高校生住宅設計コンクール	
テーマ	クラブの監督の家	
主催者	道都大学 美術学部	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
最優秀賞	村田祐希 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 3年 灯火	1
優秀賞	内田竜太郎 / 埼玉県立熊谷工業高校(建築科) / 3年 絵の巨匠 ~五感で学ぶ寺子屋物語~	1
	村松信彦 / 静岡県立科学技術高校(建築デザイン科) / 3年 彫刻の森 ~イサム・ノグチの思い~	
審査員特別賞	松原稜太 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 2年 匠を育てる家 ~現代の名工と共に~	2
	松井翼 / 滋賀県立安曇川高校(総合学科建築デザイン系列) / 3年 中田英寿選手の老後	2

競技会名称	第8回東洋大学全国高等学校住宅設計競技	
テーマ	奥行きを持つ空間	1
主催者	東洋大学 工学部 建築学科	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
最優秀賞	山口千明 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 1年 人と自然が奥行きをつくる家 ~音と光で奥行きを感じる~	1
優秀賞	阿部航己 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 3年 段差の家 Bump house	
	遠藤里恵 / 滋賀県立安曇川高校(総合学科) / 2年 障子の映る影の向こう側	2
	小沢恵里子 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 3年 鳥居心地のいい家	3

競技会名称	第11回 全国高校生設計アイデアコンテスト	
テーマ	キャンパスの花見台	
主催者	長崎総合科学大学 工学部 建築学科	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
最優秀賞	山口千明 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 1年 桜フラクタル	
優秀賞	六波羅涼 / 滋賀県立安曇川高校(総合学科) / 2年 桜並木にちょうちんの明かりをどうぞ ~行灯が映し出す桜屋上の花見台~	
	今井直和 / 中央工学校高等課程(建築技能情報科) / 2年 落葉松工房2009 ~誰もが工芸を楽しめる家~	
入賞	小野田まり / 静岡県立科学技術高校(建築デザイン科) / 2年 花びらに包まれて	
	吉田聡志 / 滋賀県立安曇川高校(総合学科) / 3年 枯山木に花を咲かせましょう ~集う人々が花びらです~	
	高橋拓矢 / 愛媛県立松山工業高校(建築科) / 1年 SUN LIGHT	
	宮崎梓 / 山梨県立甲府工業高校(建築科) / 1年 さくら会談	
	朝野真貴 / 大分県立日田林工高校(建築科) / 2年 Viv for crystal	
	草野美佳 / 大分県立日田林工高校(建築科) / 2年 さくら日和	
	伊藤あずさ / 三重県立四日市工業高校(建築科) / 1年 2つの舞台	

競技会名称	第22回 日本工業大学建築設計競技	
テーマ	天と地を結ぶ家	
主催者	日本工業大学	
賞	受賞者氏名 / 学校名(学科名) / 学年(受賞時) 作品タイトル	
1等	西川博美 / 滋賀県立安曇川高校(総合学科建築デザイン系) / 3年 こんなに近い! 天と地	1
2等	櫻井駿士 / 国立東京工業大学附属科学技術高校(建築デザイン科) / 3年 天と地を結ぶ身体	1
3等	板垣光星 / 埼玉県立熊谷工業高校(建築科) / 2年 天と地を「幹」で結ぶ家	
審査員賞	泉瑠衣 / 国立呉工業高等専門学校(建築科) / 3年 天と地を感じる家	3
	倉橋愛里 / 兵庫県立神戸工業高校(建築科) / 1年 地と天に還す家	
	龍本早樹 / 堺市立工業高校(建築科) / 2年 ロックライマーの住む家	1

全国高校生建築設計競技優秀作品展2009

